



かわさき

教職員の読み聞かせを行いました

11月21日（木）朝の読書タイムに教職員による全校読み聞かせを実施しました。教職員が事前に自分が読み聞かせる本の簡単な紹介文を書き、それを合わせて1枚の広告プリントにします。誰が読み聞かせるのかは秘密です。読み聞かせの場所は各教室や校長室ですが、読み手はいつもの教室ではないところで待っています。例えば、校長室で読み聞かせたのは教頭先生です。校長は5年教室で行いました。子どもたちは、本のタイトルと短い紹介文だけで聞きたい本を選び、その場所に行ってから初めて読み手が誰なのか分かるというお楽しみ企画です。

読み手である私も、誰が聞きが来てくれるのかドキドキしながら待っていました。すると、1年生から6年生までいろいろな学年の子どもたちが集まりました。全校児童が、それぞれの場所で楽しい時間を過ごすことができたようです。

次に子どもたちの感想を紹介します。



題名：こころってどこにあるのでしょうか

読み手：佐藤 伸

1年 服部 夢來

こころは、いろいろなところにある。こえにもこころがあることがわかった。

題名：きんたろう

読み手：菅野エイ子

1年 大内 杏珀

きんたろうはやさしくておひめさまをたすけていて、ほんとにやさしいので、おおきくなるといいなとおもいました。

題名：いいから いいから

読み手：石川加代子

2年 菅野 優奈

おじいちゃんとおとこのこのおへそがとられて、おとこのこは、ないていたのに、おじいちゃんは「いいからいいから。」

とってやさしいなとおもいました。

題名：3びきのくま
読み手：服部 英昭

2年 遠藤 愛奈

3びきのくまがおもしろかったです。わたしは5年きょうしつで校長先生に、「3びきのくま」を読んでもらいました。校長先生が読むのは、すごいじょうずだなあとおもいました。

つぎに時間があつたので、「ばけはけばけたくん」を読みました。たのしかったです。ばけたくんは、おばけの子です。

題名：あいさつ団長
読み手：星 遼希

3年 高野 六花

あいさつ団長は、大きな声であいさつをするから友だちがふえるのではなく、心をこめて、勇気を出して初めてあいさつをするから友だちになれるということが分かるお話でした。図書室でかりて、また読みたいです。

題名：11ぴきのねこ ふくろの中
読み手：紺野 徹

4年 渡邊 弥久

ねこたちはえんそくに行った…だけど、ねこたちはたてふだに書いてあることを守らないで楽しくえんそく」をしていた。けど「ウヒアハ」という人につかまった。ウヒアハをがんばってたおそうとして、さくせんをかながえた。あるさくせんをたおして、さいごのたてふだはちゃんと守って帰ったねこたちでした。



題名：こびとのくつや
読み手：菅野 幸江

4年 菅野 晴瑠

よるにこびとたちがくつを作って、すばやくきれいなくつができあがっていて、どんなに多くてもあつというまにできている。だから、そのくつを売ると高く買ってくれて、くつやさんも、おかみさんもしあわせになったと思いました。

題名：はつてんじん
読み手：安部 信一

5年 恩田 陽向

子どもがお父さんに、だだをこねて買ってもらったものをお父さんが気に入って自分のものにしてしまったのが、おもしろかったです。

題名：ヤバイ日本史
読み手：小川 雪絵

6年 喜古 陽音

豊臣秀吉と徳川家康と西郷隆盛のやばい所を知りました。一番びっくりしたのは、豊臣秀吉です。秀吉が全国統一したのはスゴイ！と思ったけど…… ヤバイ所はあだ名が「さる、じゃなくて」ハゲねずみ、だったり、ねねと結こんしたのに、気が多かたりと、私のイメージとは全然違っておどろきました。

題名：ロバのシルベスターとまほうの小石
読み手：平野 明美

6年 山崎 歩夢

雨がふっているときに「晴れて」というと雨がやんですごいなと思いました。シルベスターが岩になって、その後、最初の自分にもどれてよかったと思いました。